

令和4年度 第1回北海道後志地域公共交通活性化協議会

会議録（要旨）

1 概要

- (1) 開催日時 : 令和4年7月20日(水) 15:30 ~ 16:00
- (2) 開催場所 : 後志総合振興局2階講堂及びオンライン (DOWKAI)
- (3) 議 事 :
 - ア 開 会
 - イ 会長挨拶
 - ウ 議 題
 - (ア) 委員の変更について【報告第1号】
 - (イ) 令和3年度 事業報告について【報告第2号】
 - (ウ) 令和3年度 決算報告について【報告第3号】
 - (エ) 令和4年度 収入支出予算(案)について【議案第1号】
 - (オ) 北海道後志地域公共交通計画(案)について【議案第2号】
 - エ その他
 - オ 閉 会

2 配布資料

- (1) 北海道後志地域公共交通活性化協議会議案書
- (2) 北海道後志地域公共交通計画(案)
- (3) 計画概要(案)
- (4) 北海道後志地域公共交通計画(案)についての意見募集結果

3 議事内容

事務局より、議題(ア)～(オ)について説明し、(エ)及び(オ)について承認された。

【質問・意見等】

(小樽商科大学) :

計画案では、幹線交通、広域交通、生活圏交通の連携をよく考えているが、生活者としての公共交通から受ける便益は、最終的に生活圏交通から受ける便益で決まると思われる。

幹線交通や広域交通は、標準化されたネットワークが構築されると思うが、生活圏交通は多種多様になり、標準的な対応は難しいと考えられるので、個別に情報収集を徹底したうえで作られるとよい。

(事務局) :

ご意見のとおり、生活に密接するような詳細な交通体系は市町村により違いがあり、標準的なものよりも個別の対応が必要になってくると認識している。

ご意見を皆さんと共有し、今後も公共交通の推進に取り組んでまいります。

(地域未来戦略研究所) :

計画を有益なものとするため、2点お話をさせていただく。

1点目は、寄せられたパブリックコメントを見ていただくと分かるが、各市町村ごとに、公共交通の事情というのはかなり異なっている。

今回はマスタープランということで、全体の計画であるが、エリアごとに議論していただくというのが今後の方向性として考えられる。

2点目は、先ほどもお話のあった生活交通圏について。

これは市町村の人口ビジョンと密接に結びついてくるものであり、例えば10年後を考えたときに困難な面が出てくると予想できる。

また、新幹線開業や高速道路の開通等、環境は次々と変化していくので、一度計画を作っておしまいではなく、この大きな会議体の中では随時見直しを行っていく必要がある。

4 その他

事務局より、今後の予定を説明した。

- (1) 本日策定した北海道後志地域公共交通計画については、後日、製本したものを委員の皆様宛てにお送りする。
- (2) 今後は、毎年度目標達成状況を把握するため、指標値を測定し、継続的にモニタリングする。
- (3) 計画期間の5年間において、PDCAサイクルを回しながら進捗を管理し運用する。この運用にあたっては、毎年度当協議会を開催し、構成員の方々と認識の共有を図りながら進めてまいる。
- (4) 次回協議会開催は、来年度6月ころを予定。

以 上